

令和6年度穎明館中学校入学式式辞

今年は全国的に遅れた桜の開花でしたが、一気に満開の見ごろを迎えました。先日、穎明館の桜並木の道を歩きながら見た、風にたわむ桜が、新入生皆さんの6年間をしなやかに頑張ってくれる証のように思えました。

本日、学園本部から理事長の堀越正道先生、副理事長の堀越由美子先生のご臨席を賜り、令和6年度穎明館中学校入学式を挙行できます。私は本校校長の橋本好広です。よろしくお願い致します。

保護者の皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。心よりお慶び、お祝い申し上げます。

穎明館では、コロナ禍を乗り越え、昨年度はコロナ前と同様に、活発な教育活動、生徒活動を展開してきました。これから中学高校の6年間、穎明館教育への変わらぬご理解、ご協力をお願い申し上げます。

ただいま入学を許可しました193名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは精一杯の努力と周囲の方々の支えもあって、中学入試を突破し、晴れて本校の生徒となりました。穎明館全体で歓迎いたします。まずはご家族をはじめ、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れないでください。

さて、新入生の皆さん、私立学校、穎明館で一番、大切にしているものは何かわかりますか。それは建学の精神とあって、学校を創立した先生が、どういう気持ちで学校を創ったかというその思い、教育に対する考え方です。穎明館の建学の精神は「新しい時代のリーダーを育てる」、すなわちグローバルな視野を持って時代や社会に尽くす人、貢献する人を育てるというものです。

新入生の皆さんはEMKブリッジを渡って、正面玄関に掲げられている銘板に気づきましたか。銘板には「校訓」、「モットー」、「校歌」が書かれてあります。ぜひ後ほど読んでみてください。

穎明館の建学の精神に基づく「校訓」、「モットー」、「校歌」は、いずれも創立者堀越克明先生が考えました。新入生の皆さんには、キャリア教育という授業で、改めて穎明館や創立者について学ぶ機会があります。皆さん一人ひとり、

穎明館で学ぶ意味を考え、しっかりと勉強していきましょう。

今日はまず創立者、堀越克明先生が、今から 40 年ほど前に穎明館を創るにあたって模範とした学校、イギリスのパブリックスクールの名門、イートン校について少しお話しします。

ロンドンの西約 40 キロ、テムズ河畔、ウインザー城のある町にイートン校は設立され、580 年もの歴史があります。男の子が生まれたらイートン校にと、イギリスの親が熱望する学校です。イギリスの首相など国家のリーダーを数多く輩出しています。礼儀正しい、品格あるジェントルマン（紳士）としての人格教育をモットーにしています。

堀越克明先生はイギリスを訪れた時に、イートンの教育に触れて、このような学校を創り、ぜひ理想の教育を行いたいものだと、穎明館の創立を決意されたそうです。

穎明館も都心より約 40 キロの西の地にあり、緑豊かな高尾の地はイートン校に匹敵する場所です。イートン校の卒業生のように、全世界のリーダーとして活躍する人間を育成することが穎明館の教育目標です。中学校入学に当たり、新入生の皆さんも、穎明館の高い目標、理想を忘れずに、それぞれ皆さん自身も高い目標、理想を掲げてください。

尚、このイートン校では、日本全国の名門校との間で、サマープログラムを行っています。穎明館も 2015 年からこのサマープログラムへの参加が認められ、毎年男女 20 名ほどの選抜生徒を参加させてきました。コロナの影響もあり、イートン側の事情で休止中でしたが、今年度から再開されることとなります。中学 3 年生からですが、皆さんもぜひ積極的に参加してください。そのためにも英語をはじめ、しっかりと勉強してほしいと思います。

ところで、新入生の皆さんは読書をしますか。読書を通じて知識を増やしたり、考え方を深めたりすることができます。これからの中学高校生活で、大いに本を読んでください。今日は私から皆さんに、梨木香歩さんのベストセラー小説、『西の魔女が死んだ』の一節を紹介したいと思います。この小説には、中学生の主人公まいが、西の魔女ことおばあちゃんと、魔女修業と称して一緒に過ごした様子が描かれています。「意志の力」についてのやりとりを聞いてください。

「ねえ、おばあちゃん。意志の力って、後から強くできるものなの？生まれつき決まっているんじゃないの？」

まいは聞いてみた。

「ありがたいことに、生まれつき意志の力が弱くても、少しずつ強くなれますよ。少しずつ、長い時間をかけて、だんだん強くしていけばね。生まれつき、体力のあまりない人でも、そうやって体力をつけていくようにね。最初は何にも変わらないように思います。そしてだんだんに疑いの心や、怠け心、あきらめ、投げやりな気持ちが出てきます。それに打ち勝って、ただ黙々と続けるのです。そうして、もう永久に何にも変わらないんじゃないかと思われるころ、ようやく、以前の自分とは違う自分を発見するような出来事が起こるでしょう。そしてまた、地道な努力を続ける、退屈な日々の連続で、また、ある日突然、今までの自分とは更に違う自分を見ることになる、その繰り返しです」

新入生の皆さん、皆さんは「意志の力」は強い方ですか。受験勉強の時はどうでしたか。「自分は弱いなあ」と思っている人、大丈夫です。おばあちゃんが言っているように、少しずつ強くなれます。少しずつ、少しずつ、しかし確実に変わっていきます。それを成長というのです。この小説の主人公まいの魔女修業のように、皆さんの穎明館生としての修業の毎日を私も応援していきます。

今日は入学式にあたり、「穎明館の建学の精神と模範にしたイートン校について」と「意志の力について」、お話ししました。式辞を受け止めて、193名の皆さんが高い目標、理想を抱き、「意志の力」を強くしながら、イートン校の生徒のように品格あるジェントルマン、レイディとして学校生活を頑張ることを大いに期待しております。

そして改めて今日のおよき日の出会いに感謝し、喜びあいたいと思います。

穎明館 43 期生の皆さん、入学おめでとう。

以上、令和 6 年度穎明館中学校入学式式辞といたします。